

# 一般国道254号改築工事（和光富士見バイパス） 事業説明会開催結果

## 開催目的

土地収用法に基づく事業認定の申請を行うため、事業の目的や内容等、事業全般について説明を行うもの。

## 開催結果

日付	時間	会場	参加者数
令和6年2月21日(水)	18:30~20:30	朝霞市内間木公民館	10名
令和6年2月22日(木)	18:30~20:30	志木市宗岡公民館	6名
令和6年2月23日(金)	14:00~16:00	志木市宗岡公民館	12名
令和6年2月24日(土)	10:00~12:00	朝霞市内間木公民館	16名

合計 44 名

## 主な質疑（○：質問、●：回答）

### 【事業認定手続について】

○国はこの事業を認めているのか。

●今後、県が国に対して事業認定の申請を行う。現時点で国が事業を認定しているものではない。

○事業認定の告示はいつ行われるのか。

●令和6年3月中の事業認定申請を目指しており、令和6年度内の告示を想定している。事業認定申請後、朝霞市役所及び志木市役所において申請書の公告・縦覧が行われる。

○公告・縦覧時に意見書を提出できるのか。

●縦覧期間中に意見書を提出できる。

○会場に設置されている図面の着色等はそれぞれ何を示しているのか。

●黄色の着色が未買収地を含む申請起業地の範囲を示しており、字や市道などで区切っている。緑色の着色は工事の際に一時的に使用する範囲を示している。着色をしていない範囲は申請起業地の対象外となっており、既に用地買収が完了している。

○保留区間とは何か。

●本事業は延長が長いから、すべての収用手続きを同時に進めることが困難なことから、順番に収用手続きに入ることを想定している。保留区間とは、収用手続きに入る期間を猶予している部分であり、図面では斜線で示している。

○和光富士見バイパスの整備効果はどのように考えているのか。

●和光富士見バイパスの整備による周辺道路の混雑緩和などにより救急搬送時間の短縮が見込まれる。また、バイパス周辺では生活道路を通過していた交通がバイパスに転換され、周辺地域の安全性が高まる見込みである。

#### 【収用手続きについて】

○なぜ収用を行うのか。強制収用をすることに反対である。

●和光富士見バイパス第二期整備区間では現在 96%の用地を取得しており、早期の全線開通に向けて事業認定手続等を進めていく。しかしながら、事業認定手続等と並行して、引き続き任意交渉での取得にも努めていく。

○最後まで用地買収に協力しないと収用になるのか。収用となった場合のデメリットはあるのか。

●収用裁決手続が進むと収用となる可能性が高い。収用裁決手続がされると、移転等が自由にできなくなることが想定される。また、租税特別措置法による特例の適用の対象外となる可能性がある。

○都市計画道路であれば事業認可により収用権が自動的に付与されるのではないか。

●都市計画事業であれば、事業認可を得て事業を進めることとなり、収用権が付与されるが、本事業は道路事業であるため、事業認定により収用権を得たいと考えている。

#### 【整備時期・開通時期について】

○工事着手時期は。

●県道さいたま東村山線から志木市道 2037 号線（宮戸橋通り）については令和 6 年度より整地等の工事を行う。志木市道 2037 号線以南の工事着手時期は未定であるが、工事着手前には工事に関する地元説明会を行う。

○開通時期は。

●用地取得などが順調に完了した場合、令和 11 年度の開通を目指している。

#### 【道路計画について】

○交差点位置はどこになるのか。分断される市道については接続されるのか。

●県道さいたま東村山線以南の交差点設置箇所については、志木市道 2025 線（宗岡志木環状線）、志木市道 2037 号線（宮戸橋通り）、志木市道 2373 号線、県道朝霞蕨線の 4 箇所を想定している。その他既存の市道については、交差点ではないが、バイパスに接続する計画である。

○JR 武蔵野線との交差部を嵩上げ式から地表式に変更した理由は何か。JR 東日本は構造

について許可しているのか。

- 地表式にすることにより、歩行者自転車利用者の利便性が向上される。また、嵩上げ式に比べ構造物が少なくなるため事業の効率性の向上が見込まれる。基本構造についてはJR 東日本と協議済みである。

○JR 武蔵野線の橋脚に対して防護等を行うのか。

- 衝突防止対策を行う予定である。

○上内間木地域は降雨による内水被害が多い地域である。雨水対策はどのように考えているのか。

- バイパス整備により内水被害が増大しないよう対策の設計を行う。また、バイパスへの流入については、道路端部に止水壁を設置し、バイパス内に水が溜まらないようにする。

○バイパスに隣接して土地を保有している。バイパスへの出入りはどうすればいいのか。

- 止水壁を設置する区間を除き副道などを介してバイパスに出入りすることになる。

○今後さらなる拡幅による用地買収の計画はあるのか。

- 拡幅や追加買収の予定はない。



2/21 朝霞市内間木公民館



2/22 志木市宗岡公民館



2/23 志木市宗岡公民館



2/24 朝霞市内間木公民館